

「枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）」に係る パブリックコメントの実施結果について

意見提出期間	平成28年2月25日（木）から平成28年3月15日（火）まで
意見提出方法	ホームページへの入力による提出 書面による提出（市内31か所に意見回収箱を設置、FAX・郵送）
意見提出者数	6名
公表する意見の件数	29件

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
1	人口に関する現状分析はしっかりとされているが、人口減少に転じている課題が明確化されていないため、国の目標出生率にあわせた人口の達成と施策を並行に述べているに留まっている。重要業績評価指標としても件数のみで、その結果どうなるのかが記載されておらず、対策が明確に見えないという印象を受ける。	人口減少の要因である「死亡数が出生数を上回る自然減」と「主に東京圏や大阪市内などの都市圏への人口流出という社会減」への対応が課題であることから、総合戦略では3つの基本目標を定め、効果的な取り組みを集中的に実施することで、人口ビジョンで示す将来展望の推計に近づけるものです。
2	「総合戦略の3つの基本目標」について、「人口減少を阻止すること」を目標として明記すべきだと思う。	人口ビジョンにおける将来展望において、人口減少の傾向に歯止めをかける施策の実施を前提に、自然減と社会減を抑えることで、平成52年における本市の人口は358,970～363,685人の間になると推定しており、将来人口の目標につきましては、「1. 総合戦略の基本的な考え方」において、人口ビジョンで示す将来展望の推計に近づけることを明記しています。
3	枚方市から全国や近畿等への情報発信を行う際のTVや新聞などマスコミの利用について、予算を伴う強化が必要である。	総合戦略の推進にあたっては、「3. 総合戦略の推進」のとおり、人を呼び込むような市の魅力を市内外に広く発信しながら、効果的に取り組みを進めます。
4	「企業誘致を促進するほか、企業団地などを中心に製造業の集積を図るなど、市内産業の活性化を図ります」の重要業績評価指標について、企業誘致に関する件数のみではなく、雇用件数と年齢も追加すべきと考える。そうすれば2020年までの5年間で成果を評価できると考える。	重要事業業績評価指標(KPI)につきましては、基本的方向ごとに成果を適切に把握できると考えられるものを設定しています。
5	「創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実」について、 ①大学と連携したベンチャー企業の立ち上げに向けて、市内6大学や市外の大学との提携のサポートの仕組みを考えるべきである。 ②東大阪市の中小企業との連携や講演会など他市と連携した見学会や講演会などを企画・推進するべきである。 ③ベンチャーキャピタルがどのような観点から何に投資を行い、また成功事例は何なのかを調査・講演いただくとともに、市内の企業家の斡旋を行う仕組みや組織を整備するべきである。	産業と大学との連携につきましては、新産業・新技術の創出による地域産業の活性化をめざし、枚方産学公連携フォーラムの開催などに取り組んでいるところです。 今後も、基本目標1に基づき、ビジネスカフェ、創業実践塾、インキュベーションルームの貸し出しなど、創業の準備から創業後のフォローまで切れ目ない支援により、創業を希望する個人等が市内で独立創業できる環境づくりの充実を図ります。

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
6	<p>「市内の企業や個人等が特徴ある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりを進めます」について、同様の手法で成功した自治体に関する調査を行いながら、市からのアプローチを進める組織が必要かと思う。</p>	<p>特徴のある地域資源などを活用した新たな事業展開に取り組める環境づくりにつきましては、基本目標1に基づき、引き続き、他市事例を調査研究しながら取り組みを進めます。</p>
7	<p>「身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、主体的に取り組む商店街の活性化を図ります」について、具体的な案は、商店街の自発性に任せるのではなく、NPOなどに入っていたりながら検討するべきではないか(待ちの姿勢では進まない)。</p>	<p>商店街の活性化につきましては、にぎわいの創出や魅力づくりに主体的に取り組む商店街への補助や地域活性化支援センターにおける経営相談などに取り組んでいます。 今後も引き続き、基本目標1に基づき、身近な地域で買い物ができる利便性の向上や、地域活力の向上を図るため、商店街の活性化に取り組みます。</p>
8	<p>学生が卒業して社会人になる際に、各地方から近畿圏の企業に就職する人も多くいる。これらの人たちを対象に住宅・寮の提供を図るとともに、そのPRを積極的に行えばよいのではないかと。</p>	<p>総合戦略の推進にあたっては、「3. 総合戦略の推進」とおり、人を呼び込むような市の魅力を市内外に広く発信しながら、効果的に取り組みを進めます。</p>
9	<p>全く他人事の総合戦略を作って自己満足しているように感じる。 隣接の高槻市、茨木市、交野市と比較すれば、枚方市の行政レベルの低さが歴然とわかるはず。歩道のない道、置き去られた東部地区の下水道整備、大渋滞の幹線道路、少ない東西連絡路、少ない公園や歩道など、いずれも人口、面積ともに少ない近隣の市町村の方がはるかに良いのはどういうことか。 具体的には、第二京阪道路との連絡路について、現在4箇所が枚方市付近に接続されているが、いずれも幹線道路とつながっていない。307号線との杉付近は、なぜ、地形を利用して立体交差しないのか。いつも大渋滞である。 津田南地区は、せっきくの道路が片町線付近で消えている。交野市神宮寺入り口は、枚方市に入った途端に出鼻橋交差点で終わり。茄子作南交差点は、せっきく新しく作った入り口道路が、釈尊寺団地入り口で終わり、信号が悪くいつも渋滞している。これでは、企業も運送のためのトラックを運転したくなくなる。 現在は、物流がすべての経済を左右している。枚方市は第二京阪道路が通過しており、物流を確保すれば企業立地も促進され、雇用も大量に発生する。一方で、渋滞と物流の悪さを嫌って、枚方市から撤退している企業も多い。現在7箇所ある企業団地と2箇所ある企業集積地も津田を除いてはどこも空きが多い。この状況も道路を確保すれば、大きく変わると思う。 物流確保のための道路整備を、覚悟を持って強力に進めるといことを盛り込んでいただきたい。福祉は、雇用と税収が確保できればあとからついてくるので、優先度は下げべきである。</p>	<p>基本目標1に基づき、交通渋滞の緩和や都市間交流の活性化、防災面での広域連携を図るため、広域的な幹線道路等の整備に向けて取り組みます。 また、日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。</p>

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
10	<p>枚方市では、全国的に見て非常に恥ずかしいことも見過ごされている。</p> <p>それは、国道1号に歩道がないという事実である。しかも、出屋敷付近と菊が丘付近という2箇所もある。国道1号といえば、国が真っ先に整備すべき施設である。それが、今の時代に歩道もなく、横を高校生が自転車で通学しているというのは、はっきり言って滑稽である。国道1号であれば、高架橋や大深度トンネル等の大規模工事でより快適に通過交通をさばけるように配慮されるべきである。これを指摘してこなかったのは、従来からの市政の怠慢の結果ではないか。すぐ、大阪府が聞いてくれなかったとか、予算がなかったとか担当者は言い訳するが、それは、地元の枚方市の決意がなかったからだと思う。その決意こそが、今回のような総合戦略で、まず最初に打ち出すべき。そうすれば、産業の誘致、人口の増加、税収の増加も可能である。この20年間の高槻市を見ていると、市政運営に責任を持ち、市民と一体となって取り組むかという考え方の違いが、枚方市とは大きな差となったと感じている。</p>	<p>基本目標1に基づき、日常生活において安全に歩行できるよう、快適な歩行空間の整備に取り組むとともに、交通事故の防止を図るため、自転車や歩行者の交通安全意識の向上を図ります。</p>
11	<p>枚方市北部を「通過」という計画が進んでいる第二名神も含めると、京阪奈道ともつながり、枚方は全ての国土軸が結集する地点となる。このチャンスをとらえずしてながら、総合戦略なのか。二つの高速道路に対する取り組みにも触れることもなく絵空事の文句を並べていては、それは人口も減るだろう。だからこそ、より積極的に政策の選択と集中を実施すべきである。</p>	<p>基本目標1において、「新名神高速道路の早期完成に向けたNEXCO西日本や大阪府との協議、国への要望」を盛り込んでいます。新名神高速道路は、道路ネットワークの国土軸となるものであり、また、本市においても市内経済の活性化の促進や災害時の広域的な運搬ルートを確保できるなど、地域経済の発生や環境改善に期待するものでありますので、引き続き整備促進に取り組んでまいります。</p>
12	<p>「快適で暮らしやすい環境を備えたまち」のうち「市民生活の利便性向上や環境負荷の軽減などを図るため…」や「利便性の高い都市環境をめざし、医療施設や福祉施設、商業施設などの…」について、枚方市内のコミュニティタウン(買い物、病院、福祉、役所手続きなどのできる区画)を複数設定し、タウン間を巡回する定額バスを運行すればよいのではないかと。</p>	<p>医療施設や福祉施設、商業施設などの都市機能の集約を図る拠点を適正配置できるよう、立地適正化計画を作成・推進するなど、効率的・効果的な都市整備を進めます。</p> <p>また、タウン間を巡回する定額バスにつきましては、基本目標1に基づき、総合交通計画を策定・推進するなど、効率的で利便性が高く、持続可能な公共交通環境の整備を図るとともに、公共交通機関の利用を促進します。</p>
13	<p>業者によるミニ開発時に袋小路などの住宅を規制し、美観も枚方市が行政指導するのが、望ましいと思う。</p>	<p>住宅地の開発行為につきましては、関連法令や枚方市開発事業等の手続等に関する条例に基づき、規制・誘導を行うとともに、より住みよいまちづくりを進めるため、都市景観基本計画に基づく良好な景観形成の推進や、一定の区域の住民全員の合意によって法律で定める最低の基準に一定の制限を上乗せしたルール作りを行う建築協定の締結への支援を行います。</p>

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
14	<p>「今後、増加することが見込まれる管理不能な空き家、空き地の発生抑制…」について、空き家に関しては、高齢者の夫婦のみ、もしくは一人暮らし世帯など、空き家となる可能性のある住居を含めて、若い子育て世帯に、市の補助も行いながら安く賃貸することを考えるべきだと思う。広い敷地と建屋を持つ家屋については、分割も含めて市で活用することも検討していただきたい。</p>	<p>管理不良な空き家・空き地の適正管理及び活用の促進につきましては、基本目標1に基づき、親世帯と子育て世帯の市内同居等に対する補助や、マイホーム借り上げ制度の普及に取り組むとともに、空き家の活用を含めた対策計画の策定・推進を行います。</p>
15	<p>「地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち」のうち「本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに…」について、音楽ホールを一刻も早く竣工すべき。京阪沿線の各市はそれぞれ大小の差はあるが、よいホールがある。よい演奏家を呼ぼうとするとホールの設備・音響が良いことは必須だし、来場する方々もそれなりの音楽に関する知見を持っている。また、同様に重要なのは中核市にもかかわらず、まともな美術館がないことである。大阪美術学校という歴史を持ちながら、極めて残念なことだと考える。よいホールと美術館は、その都市の文化のバロメータを評価するものと考えるので、早急に着手していただきたい。</p>	<p>基本目標1に基づき、人々が集い賑わい、魅力あふれる中心市街地につながるよう、総合文化施設の整備をできるだけ早く進めます。</p>
16	<p>「地域資源を活用したイベント開催による地域内外の交流機会の創出」について、具体策として「地域団体、NPO(市民団体)などのイベントの支援やコラボレーション」を追記していただきたい。 地域団体、NPO(市民団体)はこれまで培ってきたイベントへの想いやノウハウがあり、また市民主体で行うことで市民の側も自主性・主体性や郷土愛にもつながるのではないかと思う。</p>	<p>地域資源を活用したイベントの開催につきましては、基本目標1に基づき、実施主体である市民団体を支援するなど、地域内外の交流機会の創出につながるよう実施していく考えです。 ご意見を踏まえ、具体的な施策にある「地域資源を活用したイベントの開催」の後に「や、市民団体などのイベント支援」を追記します。</p>
17	<p>「地域資源を生かし、人々の交流が盛んなまち」の「本市が有する歴史・文化などの貴重な観光資源を効果的に発信するとともに…」について、枚方の歴史の深さと遺産の多さは他の都市に負けるものではなく着実に整備されてきてはいるが、部分的でこじんまりとしている。市として歴史観光都市としての戦略の上に、どう観光客を導き入れるか考えるべきであり、百済寺など整備ポイントを明確にし、定期観光バスを運用すべきと考える。</p>	<p>歴史文化遺産などの貴重な観光資源につきましては、基本目標1に基づき効果的に発信するとともに、幅広い世代の人々にとっての憩いの場や学びの場を確保することで、人々の交流機会の創出を図ります。 百済寺へのアクセスにつきましては、バス駐車場を確保するなど、来訪者の増加につながるよう取り組みを進めているところです。</p>

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
18	<p>「学生の活力を生かしたまちづくりを進めるため、教育など……」について、市内6大学に限らず、近隣府県の各大学と連携した広域的な運動にし、各地域の成功事例を参考にしながら採り入れてはどうか。若年層を中心とした地域活性化を中心に、学生に対する先進的な中小企業の成功事例の講演や見学会を実施するのもよいことではないかと考える。</p>	<p>市外大学との連携として大阪体育大学と連携協定を結び、教育の充実・発展とスポーツの振興を図るとともに、市内中小企業との就職マッチング機会の提供など学生を含む若年者雇用に向けた支援に取り組んでまいります。</p> <p>今後も、基本目標1に基づき、本市と市内6大学で構成する「学園都市ひらかた推進協議会」において、ひらかた市民大学の実施など、様々な分野において学生の活力を生かしたまちづくりを推進します。</p>
19	<p>「安心して子供を産み育てることができ、子どもの健やかな成長と……」について、全体として出産・子育て時の費用負担をいかに軽減するかが重要だと考える。そのためには、就学時までの幼児の医療費の無償化や、保育園、幼稚園の定員増加と保育料の大幅な軽減などを実施すべきだと思う。</p>	<p>子育て支援につきましては、子どもの医療費助成の対象を中学校卒業までに拡充するとともに、保育所の定員増による待機児童対策を推進しています。</p> <p>今後も、基本目標2に基づき、待機児童対策や国制度に基づく多子世帯などの保育所・幼稚園等の保育料軽減など、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境の実現に向けて取り組みを進めていきます。</p>
20	<p>枚方市新行政改革実施プランでは、「保育料の改定」として、国の基準や他市の水準等を踏まえ保育料を改定するとされている。行政改革に伴い、現在、他市に比べ安い枚方市の保育料が引き上げられることも想定されるが、保育料が払えず、または高く保育所等への入所をあきらめる市民が出ないよう、現行の保育料を引き下げ保護者負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる枚方市にしたい。</p>	<p>子育て支援につきましては、基本目標2に基づき、待機児童対策や国制度に基づく多子世帯などの保育所・幼稚園等の保育料軽減など、子どもが安心して教育・保育を受けられる環境の実現に向けて取り組みを進めていきます。</p>
21	<p>「安心して子供を産み育てることができ、子どもの健やかな成長と……」について、保護者と地域の高齢者でいかに子どもたちを育成し、見守っていくかが重要であり、3世代の接点の場を増やすため、物理的に集まる仕組みづくりが必要である。</p>	<p>地域の子育て支援につきましては、基本目標3に基づき、高齢者と子育て世帯などの世代間交流の場を確保するとともに、基本目標2に基づき、地域子育て支援拠点における子育て親子の交流の場の提供や、地域団体が主体的に取り組む児童健全育成事業「枚方子どもいきいき広場」への支援などを進めます。また、各保育所(園)においては、地域の子どもの育児相談のほか、地域の気になる子ども及びその家庭の支援を行っています。</p>
22	<p>「男女がともに仕事と生活を両立することができるよう、ワーク・ライフ……」について、市内の各企業に対して柔軟な勤務体系を策定するよう、強く指示する必要があるのではないかと考える。合わせて、行政のトップが自ら宣言するのは効果的だと考える。</p>	<p>ワーク・ライフ・バランスにつきましては、基本目標2に基づき、様々な機会を通じて啓発リーフレットの配布などを通して事業者への啓発を進めるとともに、次世代育成支援対策推進法に基づく特定事業主行動計画に基づき本市職員の取り組みを推進します。</p>

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
23	<p>「義務教育9年間を見通した小中一貫教育を推進するとともに、正確に・・・」について、試験結果を公表し、教育の現場で使うべきだと思う。自分がどの位置にあるのかを認識することや、努力した結果を自分で確認すること、さらに友達だけでなく自分との競争の面白さを伝えることなどにより、伸びる子の成長を促し、伸びない子をフォローしながら、うまく進めていけばよいと思う。また、アメリカの小学校などの取り組みを参考に、幼い時期から人前で話し、質問を聞き、考えて答える訓練となる教育を採用すべきと考える。</p>	<p>本市では、全国学力・学習状況調査の結果を活用し、教科ごとの分析結果や設問ごとの正答率、生活習慣や学習習慣と学力との相関関係の高いもの等を公表し、保護者と連携・協力の上、学習習慣・生活習慣の確立・定着に努めています。</p> <p>また、国では、学習指導要領の改訂が進められており、その中で「課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ学習」（いわゆる「アクティブ・ラーニング」）などの充実が必要であるとされています。このことも視野に入れ、今後も、児童・生徒が自ら考え、自分の考えを自分の言葉で話すことができるような学習機会の充実にも努めていきたいと考えます。</p>
24	<p>「充実した教職員研修等を通じて、高い指導力と意欲を持つ教職員の・・・」について、研修項目に有名予備校の有名講師の授業を受けるという内容を追加するよう提案する。彼らの教え方は極めてわかりやすく面白いが、なぜ、どうしたらそのような授業ができるのかを考えてもらうことが重要だと思う。</p>	<p>教職員研修の講師につきましても、それぞれの研修の趣旨、目的を達成するために必要な人材を招聘しており、今後も研修の効果を一層高めることができるよう努めます。</p>
25	<p>「子どもたちの安全確保を図るため、学校・家庭・地域などが連携し、子どもが・・・」について、各自治会を通じて地域の高齢者の組織化を図り、登下校だけではなく日常の声かけを実施することで、お互いに顔を覚え、地域ぐるみで子どもを守る取り組みが実現されるのではないかと思います。</p>	<p>子どもが安心して学べる環境づくりにつきましては、基本目標2に基づき、引き続き、地域・保護者の協力を得た安全監視ボランティアによる活動を通じて、地域ぐるみ、まちぐるみで子どもの安全を確保していくという意識の醸成を図っていきます。</p> <p>また、地域や保護者による子どもの安全を見守る活動や関係機関とも連携し、子どもが安全に安心して学べる環境づくりに取り組みます。</p>
26	<p>健康年齢の引き上げを目的とした、日本版CCRC（高齢者が東京から地方に移り住み、必要に応じて医療介護ケアを受けながら、健康でアクティブな生活を送ること）的な取り組みや3世代家族化（地域の子どもの高齢者が積極的に見ていくことで、若い共働きの世帯の負担を減らし、働きやすい環境を作る）的な取り組みが盛り込まれるべきだと考える。</p>	<p>高齢者が地域でいきいきと暮らせるまちづくりを推進できるよう、基本目標2・3に基づき、保健・医療・介護・福祉等の連携強化などにより、高齢者が継続して在宅生活ができる環境の整備を図るとともに、高齢者と子育て世帯などの世代間交流の場の確保や、地域団体が主体的に取り組む児童健全育成事業「枚方子どもいきいき広場」への支援などを進めます。また、各保育所（園）においては、地域の子どもの育児相談のほか、地域の気になる子ども及びその家庭の支援を行っています。</p>
27	<p>総合戦略の策定に着手する時期が遅い。来年度以降、本格的に組織強化し、検討・実施するものと期待する。</p>	<p>総合戦略につきましては、平成27年7月より外部有識者等による意見聴取会を開催するなど、平成28年3月の策定に向けて取り組んできました。</p> <p>今後、総合戦略を効果的・効率的に推進できるよう、「4. 総合戦略の進行管理」における考え方に基づき、外部有識者等による意見を聞きながら、適切に進行管理を行います。</p>

No	ご意見の要旨	枚方市の考え方
28	<p>的確な重要事業業績評価指標(KPI)の設定とそのチェックを厳しく実施するリーダーが必須となる。地方創生というテーマは極めて重要で、着手と実施が遅れるほど自治体の衰退を招くことになる。推進のための新規の組織作りとテーマの見直しが今後、必要かと思う。</p>	<p>総合戦略を効果的・効率的に推進できるよう、「4. 総合戦略の進行管理」における考え方に基づき、外部有識者等による意見を聞きながら、適切に進行管理を行います。</p>
29	<p>重要業績評価指標の「策定時の値」が、全国平均あるいは周辺都市と比べ高いのか、あるいは低いのか判断できないため、目標値設定の根拠について、納得のいく説明が必要である。</p>	<p>重要業績評価指標(KPI)の目標値につきましては、過去3年間の実績推移や個別行政計画の目標値等を踏まえ、設定しているものです。今後、総合戦略を効果的・効率的に推進できるよう、「4. 総合戦略の進行管理」における考え方に基づき、外部有識者等による意見を聞きながら、適切に進行管理を行います。</p>